

リウマチ対策の骨子(案)

平成17年報告書 今後の方向性

1. 医療等の提供

- 関節破壊の進展阻止を目指した重症化防止に重点を置き、リウマチ活動期に速やかに寛解導入を図る初期治療を実施する。
- 可能な限り入院患者を減少させ、又は入院しても短期で退院し社会復帰できるよう、適切な入院医療を提供する。

2. 情報提供・相談体制

- 患者自己管理手法の修得、情報提供体制の確保や相談体制の確保のための対策を講じる。

3. 研究開発等の推進

- 早期診断・早期治療等による重症化の防止に対する取組に重点を置く。
- (有効な治療選択法のための)情報収集体制について検討する。
- リウマチの予防法と根治的な治療法の開発を進める。



新規報告書(骨子(案)) 今後の方向性

1. 医療等の提供

- 関節破壊の阻止を目指した早期発見と早期治療の開始に重点を置き、リウマチ発症をより早期に診断し、速やかに寛解導入を図る初期治療を実施する。
- 可能な限り入院患者を減少させ、又は入院しても短期で退院し社会復帰できるよう、適切な入院医療を提供する。

2. 情報提供・相談体制

- リウマチが寛解を十分期待できる疾患となったことを踏まえ、情報提供体制の確保や相談体制の確保のための対策を講じる。

3. 研究開発等の推進

- 早期診断・早期治療等による寛解導入に結びつける取組に資する研究及び失われた関節機能の改善に資する研究に重点を置く。
- 患者情報の適切な管理と効率的な活用に資する研究を推進する。
- リウマチの予防法と根治的な治療法の開発を進める。

具体的方策

1. 医療等の提供

- かかりつけ医を中心とした医療体制の確立
- 人材育成
- 診療の質の向上

2. 情報提供・相談体制

- 自己管理手法の促進
- 情報提供体制の確保
- 相談体制の確保

3. 研究開発及び医薬品開発の推進

- 効果的かつ効率的な研究推進体制の構築
- 研究目標の明確化
- 医薬品の開発促進等

4. 施策の評価

具体的方策

1. 医療等の提供

- リウマチの治療に必要な医療体制の確立
- 人材育成
- 診療の質の向上

2. 情報提供・相談体制

- (削除)
- 情報提供体制の確保
- 相談体制の確保

3. 研究開発等の推進

- 効果的かつ効率的な研究推進体制の構築
- 研究目標の明確化
- 医薬品の開発促進等

4. 施策の評価

